

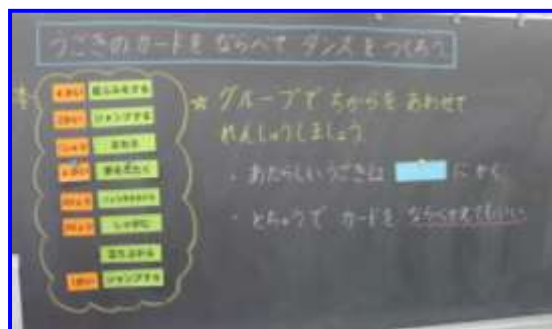
うごきのカードを並べてダンスをつくろう！

～アルゴリズムを使ってアンプラグド体験での1年生プログラミング学習～

1年生は音楽の授業で、リズムによってダンスの振り付けを考える表現の学習をしています。そして、その方法として、プログラミングの考え方につながるアルゴリズムを使っています。アルゴリズムとは、「問題を解決するための手順や計算方法」を指す言葉です。答えを求めるときの手順を具体的かつ明確に示したものだと言えます。一般にアルゴリズムとはコンピュータを使ってプログラムで問題を解決するための手順を表す言葉として使われます。「くりかえし」や「ソート（並び替え）」などが、わかりやすい手順だと思えます。NHKのEテレの「ピタゴラスイッチ」という番組で有名な「アルゴリズム体操」もこの考え方です。「アルゴリズム」を考えたり、使ったりする中で、「プログラミングの考え方」が身についていきます。

今回は、「手をたたく」「足踏みをする」「ジャンプする」「しゃがむ」などの動きや回数を入れたカードを並べて、かっこいい動きを考えていました。基本の動きのカードがないときは、自分たちでカードを作って、ダンスの動きを考えていました。音楽に合わせてグループでおどる姿は、とてもかわいらしかったです。1年生には「アルゴリズム」という言葉は教えていませんが、「これってプログラミングみたいだね。」と、口に出していた子もいました。

コンピュータを使用しないプログラミング学習を「アンプラグド」と言います。低学年ではこの「アンプラグド体験」を通して、遊びながらアルゴリズムやプログラミングの基礎を学ぶ学習も研究しています。今回の授業の様子は、山梨日日新聞の取材があり、プログラミングの特集記事の中で紹介される予定です。



12月15日(火)の授業の様子



山日新聞の取材を受けました

■ 教育ボランティアさんの紹介！

10月より順次、本校に教育ボランティアとして来ている山梨大学の学生さんを紹介します。将来、教員をめざす学生さんです。現場での経験を将来に生かしてほしいと思います。



火：大塚ひかるさん



水：大村 琴美さん



水：松井 優一さん



木：林 未夢さん



木：久保島美玖さん



金：田中 香帆さん



金：橘 夢芽さん



金：今泉 健汰さん



金：植村菜々子さん



■ 小中連携あいさつ運動が行われました！

12月14日（月）の朝、本校出身の竜王中の生徒会の役員さんと本校の児童会役員が玄関前であいさつ運動を行いました。これは小中連携事業として数年前から行っています。中学生となると、みんなたのもしく見えます。懐かしい担任の先生にも会えて、どこことなくうれしそうでした。

このような状況の中でも、小中連携のあいさつ運動ができたことをうれしく思います。



■ 初めての書き初め！一生懸命にがんばっています～1年生～

12月15日（火）に1年生は、初めての書き初めの練習を行いました。1年生の書き初めは習字（毛筆）ではなく、鉛筆（硬筆）で行います。自分の名前を最初に練習し、「はる」という詩を1行ずつ書いていきました。いつも一生懸命に取り組む1年生です。しっかり練習して、ていねいな字を書いてほしいと思います。

